

## 祈るだけでは

A男が、珍しく早い時間に、私のもとに自転車に乗ってやってきました。いつもはもっと遅い彼ですが、今日は七時一〇分過ぎに姿を見せました。学園台の生徒たちが通過し、次の生徒がやってくるまでのだれも通らない時間帯です。

「おつ、今日は早いね。テストだからかい?」

「神社で(テストの成功を祈願するために)参拝してきました!」  
予想外の言葉が返ってきました。期末テストの成功を願って、早めに家を出て神社に寄ってくる中学生がいるなんて、だれも想像しないことでしょう。A男は自転車から降りながら、笑顔とその言葉を残して、元気に私の前を通り過ぎていきました。

A男だけでなく、今日はどの生徒も早めの登校を心がけていたようです。いつも八時近くになると颯爽(さっそう)と自転車に乗って姿を現すB男も、今朝の登校は結構早めでした。私はA男にかけた言葉を、そのままB男にもかけました。

「今日はいつもより早いね。」

「はい、テスト勉強しようと思って。」

今度は参拝ではありませんでした。予想通りの言葉でした。今朝いつもより早めに登校した生徒たちの理由は、B男と同じ「テスト勉強」だと私は思っています。皆さんはどうですか。テストの寸前まで、教科書や参考書を見てぎりぎりまで勉強することで、自分を安心させようとしているんじゃないでしょうか。

しかし実際は、そういう(テスト)寸前の勉強はほとんど記憶に残らないようです。その時に見て覚えることができるなら、前日までの家庭学習で身に付いているはずですからね。したがって、恐らく再確認なのでしょう。覚えたはずのことがすっかり記憶に残っていないかを確認するのでしょうか。

ということとは、テスト寸前までの見る勉強や読む勉強は、頭に入るためというより、安心するため、不安な自分を落ち着かせるためにやっていると言えます。大切なのは、テスト当日までに力がつく学習を重ねてきたかどうか、です。それがなければ、祈願しても、確認しても、残るのは不安ばかりということになります。

「困った時の神頼み」という言葉がありますね。この言葉は、努力を積み重ねた者が、よい結果が出るように心を落ち着かせる行為だと言えるでしょう。A君は、神社に参拝するという形で示しました。B君はいつもより早めに登校し勉強するという形で示しました。いずれも、やり切ったという自信があるからとった行為だと私は思っています。

神頼みは偶像崇拜です。祈るだけでは状況は変わりません。レントウがそうだったでしょ?。三年生はわかるよね。祈って自分を落ち着かせることができるだけの努力の積み重ねがある、これが大切なのです。

(十一月十一日記)